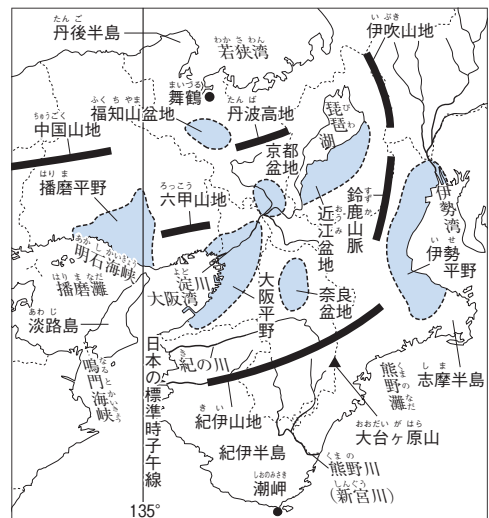
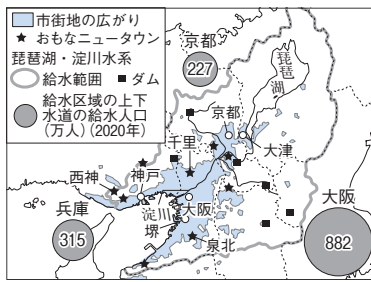
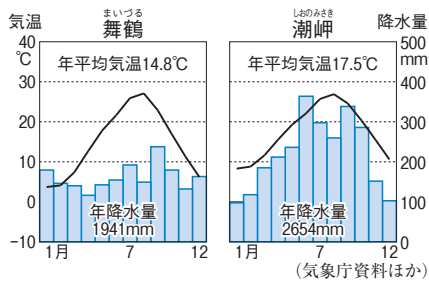




▲A おもな都市の雨温図

▲B 琵琶湖・淀川水系

1 近畿地方の自然環境(図表のワーク①～⑧)

- (1) 地形…中部→琵琶湖と淀川を中心とする平地、近江盆地・京都盆地・日本最大の湖「天然記念物のイタセンバラの復活に取り組む」地・奈良盆地・大阪平野など。北部→なだらかな山地。南部→険しい紀伊山地。北部の若狭湾や南東部の志摩半島にリアス海岸。

- (2) 気候…北部→季節風の影響で雪が多い。南部→黒潮の影響で温暖。

日本有数の多雨地域。中部→年間の気温の差が大きい。雨が少なく、播磨平野や奈良盆地にはため池が多い。

2 大阪(京阪神)大都市圏(図表のワーク⑨～⑪)

- (1) 大阪(京阪神)大都市圏…東京大都市圏に次いで人口が集中。宅地の不足に対応するためニュータウンを建設。神戸市では六甲山地から削り取った土で埋め立てて市街地を広げる。琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。
- (2) 大阪市…古くから水運による商業の中心地。近年は川や運河を生かしたまちづくり。「天下の台所」や「水の都」とよばれる。
- (3) 琵琶湖…1970年代から水質が低下して赤潮やアオコが発生し、水道水への影響が問題化→りんを含む合成洗剤の使用中止や下水道の整備などにより水質悪化の進行を抑制→さらに水質を改善する取り組みが広がる。

3 阪神工業地帯と環境問題(図表のワーク⑬、⑭、⑯)

- (1) 阪神工業地帯…地盤沈下・大気汚染などの公害が発生→公害対策。地下水を工業用水としてくみ上げた水の再利用、排煙処理装置など臨海部(大阪湾の埋立地)に重化学工業の工場が集中→化学・鉄鋼など原料や製品の輸送に便利のためどの工業が伸び悩む→薄型パネルの工場が進出したが、現在は生産縮小→大型の物流施設やテーマパークなどが建設。

- (2) 中小企業の工場…大阪府東部に中小企業の工場が多い。中小企業の工場は住宅地に多く、騒音・振動などの問題が発生→時間帯で振動や騒音を規制するなどの対策。

4 古都京都・奈良と歴史的景観(図表のワーク⑫～⑭)

- (1) 古都京都・奈良…平安京や平城京などの都が置かれた「古都」。世界遺産の清水寺や東大寺をはじめとし、重要文化財に指定された建物や絵画などが多く残る。清水焼・西陣織・奈良墨などの伝統的工芸品の生産がさかん。観光産業もさかん。
- (2) 歴史的景観の保全…京都市→建物の高さ制限や無電柱化などにより景観を守る。奈良市→町家を保存するために、建物の内部を旅館や飲食店などに改装して利用。

5 林業と漁業(図表のワーク⑰、⑱)

- (1) 林業の変化…紀伊山地の「吉野すぎ」「尾鷲ひのき」→安い外国材、従業者の減少、高齢化などの課題→林業の雇用を増やす取り組み。地球温暖化の防止など、環境への効果を重視した「環境林」を保全する取り組み。
- (2) 紀伊山地の観光…観光客の増加によって世界文化遺産の熊野古道の環境が破壊→環境保全の活動が行われる。
- (3) 水産資源の保護…英虞湾では干潟の再生に取り組む。日本海沿岸でずわいがにの漁獲制限。

▲C 近畿地方の自然

播磨平野や奈良盆地にはため池が多い。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

京都盆地や奈良盆地にはため池が多い。

大阪平野や奈良盆地にはため池が多い。

紀伊山地や紀伊半島にはリアス海岸が多い。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

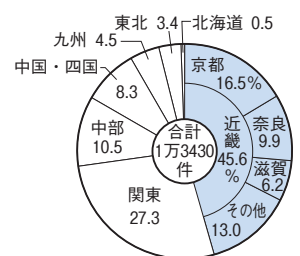
琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

琵琶湖や淀川の水を生活用水に利用。

| 1983年     | 機械    | 食品   | 化学   | 鉄鋼・金属 | 繊維  | その他  |
|-----------|-------|------|------|-------|-----|------|
| 32兆6275億円 | 29.6% | 10.3 | 15.5 | 21.7  | 5.8 | 17.1 |
| 2021年     | 36.9% | 11.7 | 21.4 | 21.0  | 7.8 | 1.2  |
| 30兆4966億円 |       |      |      |       |     |      |

(2022年 経済構造実態調査ほか)

▲D 阪神工業地帯の工業出荷額の内訳

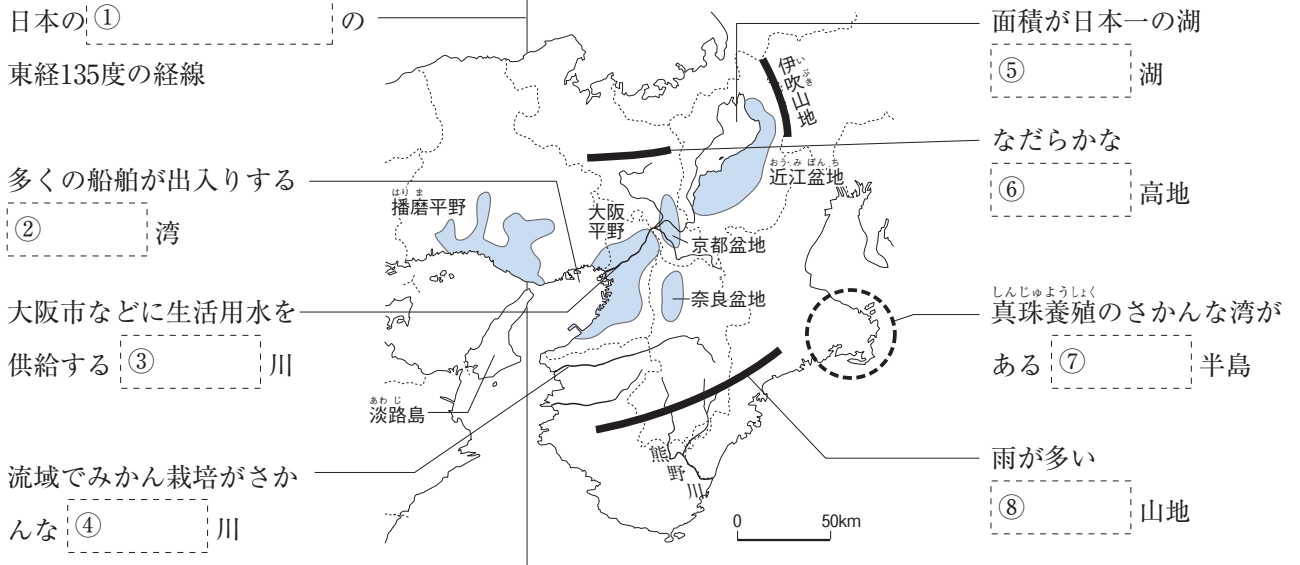


(2024年7月1日) (文化庁資料)  
 ※100%になるよう調整していない。

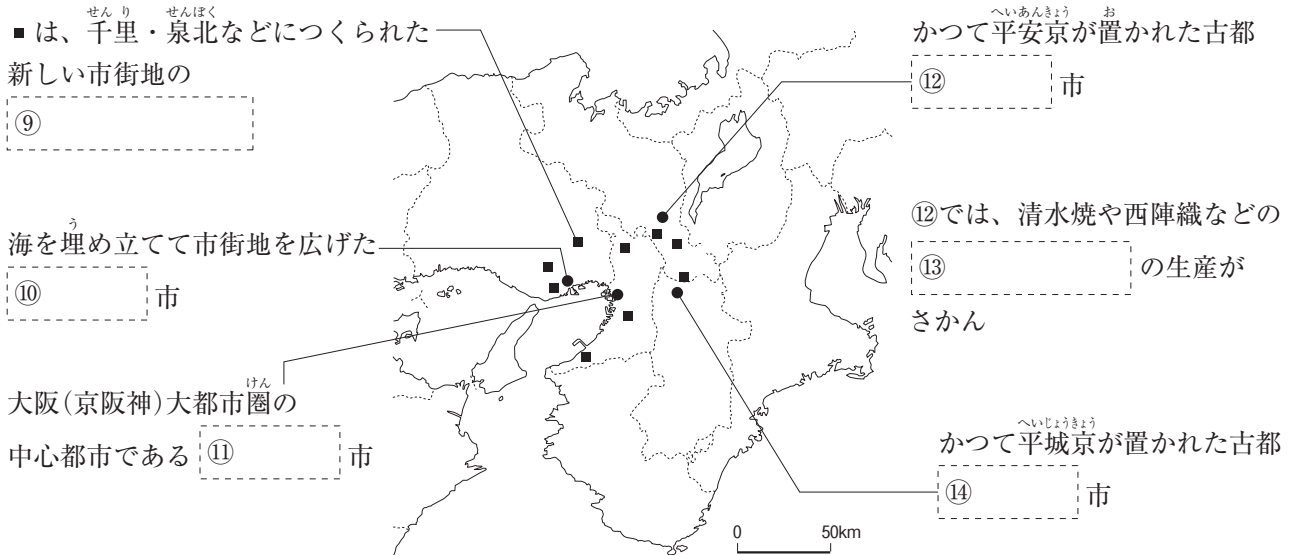
## ☑ 図表のワーク

学習のまとめを見て  
図表を完成させよう

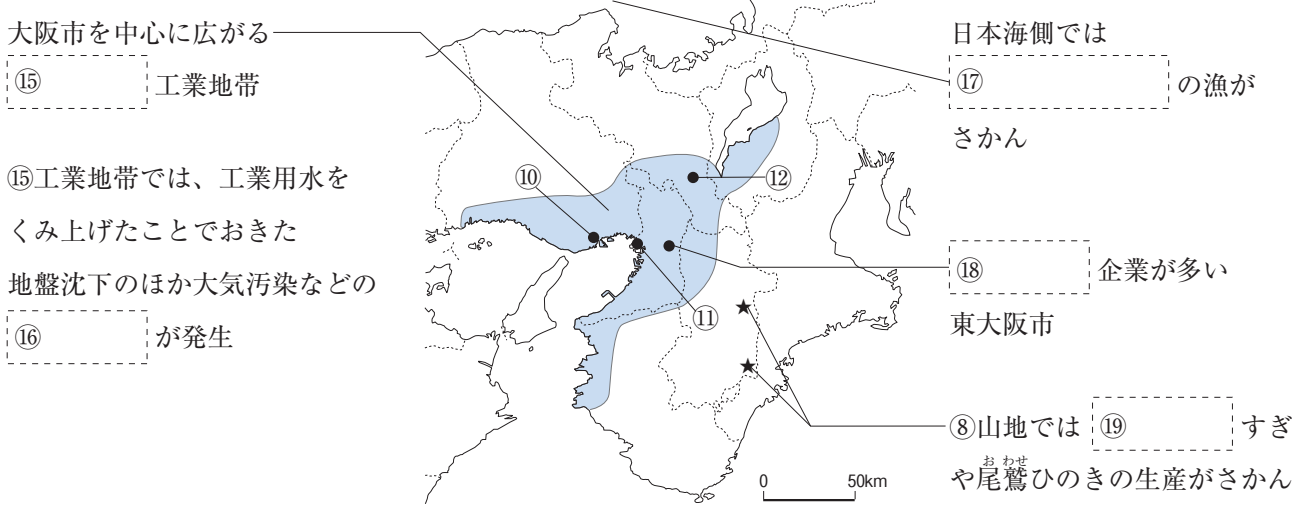
### 近畿地方の自然



### 近畿地方の都市・文化



### 近畿地方の工業・漁業・林業



# 確認問題

→類題演習 P.115

① 近畿地方の自然環境 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 近江盆地には日本最大の湖の□がある。 ( )
- (2) 近畿地方南部には、険しい□山地がそびえている。 ( )
- (3) 若狭湾や志摩半島の海岸には、複雑に入り組んだ□が見られる。 ( )
- (4) 近畿地方の北部では、冬は北西の□の影響で、雪が多い。 ( )
- (5) 中央部は降水量が少なく、播磨平野や奈良盆地などで□がつくられてきた。 ( )

② 大阪(京阪神)大都市圏 次の問いに答えなさい。

- (1) 京都・大阪・神戸を中心に広がる大都市圏を何というか。 ( )
- (2) 大都市の郊外の泉北・千里・須磨などに計画的につくられた新しい住宅団地や市街地を何というか。 ( )
- (3) 平坦な土地が少ないため、六甲山地から削りとった土で海を埋め立てて、市街地を広げた都市はどこか。 ( )
- (4) 琵琶湖では、かつて、プランクトンが大量発生し、水が赤色に変わる現象がおこった。これを何というか。 ( )
- (5) 江戸時代に米や特産物が集まる商業の中心地となり、「天下の台所」とよばれた都市はどこか。 ( )

③ 阪神工業地帯と環境問題 次の文中の〔 〕から、最も適当な語句を選んで答えなさい。

- (1) 大阪湾の周辺に〔近畿 阪神〕工業地帯が広がっている。 ( )
- (2) (1)工業地帯では、かつて地下水を工業用水としてくみ上げたことで〔水質汚濁 地盤沈下〕が発生し、深刻な問題になった。 ( )
- (3) 大阪湾沿岸の〔埋立地 干拓地〕には、1960年代は製鉄所、2000年代には薄型パネルの工場、現在は物流施設やテーマパークが進出している。 ( )
- (4) 大阪府東部の東大阪市や八尾市などには、〔中小企業 大企業〕の工場が多い。 ( )

④ 古都京都・奈良と歴史的景観 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 平安時代に、現在の京都に□という都が置かれた。 ( )
- (2) 京都・奈良は、長い間政治・文化の中心だったため□とよばれる。 ( )
- (3) 京都や奈良には、清水焼や西陣織、奈良墨などの□がある。 ( )
- (4) 奈良市では、歴史的景観を保全するため、□とよばれる伝統的な住居の内部を改装して利用するなど取り組みが進められている。 ( )

⑤ 林業と漁業 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 紀伊山地では、「□すぎ」や「尾鷲ひのき」とよばれる良質な樹木が育つ。 ( )
- (2) 森林には二酸化炭素を吸収し、□を防ぐ役割がある。 ( )
- (3) 紀伊山地では、世界文化遺産に登録された□の山道の保全活動が行われている。 ( )
- (4) 日本海沿岸では□の漁獲量が減少したため、漁獲制限が行われている。 ( )

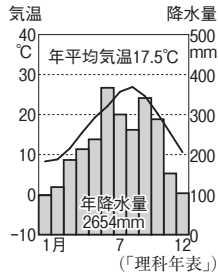
練習問題

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中のAの高地、Bの山地の名をそれぞれ答えなさい。

□(2) 地図中のCの川、Dの島の名をそれぞれ答えなさい。

□(3) 右の雨温図にあてはまる都市を地図中のX～Zから選び、記号で答えなさい。



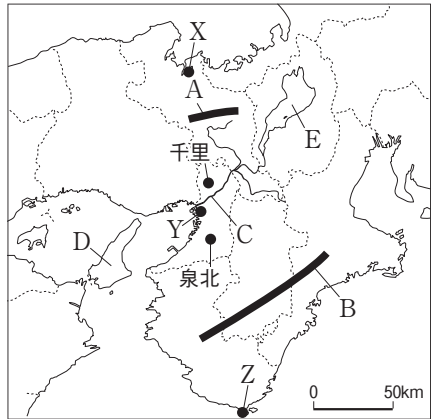
□(4) 人口増加への対応で

地図中の千里・泉北などにつくられた住宅団地や市街地を何というか。

(5) 地図中のEの湖について、次の問いに答えなさい。

□① この湖の名を答えなさい。

□② この湖の環境保全を進めるため、ある物質を含む合成洗剤を使わないようにする運動が行われた。この物質は何か。



1 学習のまとめ ①・②

(1) A 高地

B 山地

(2) C

D

(3)

(4)

(5)①

②

2 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中の[ ]に広がる工業地帯の名を答えなさい。

□(2) (1)の工業地帯の特色を次から選び、記号で答えなさい。

ア 八幡製鉄所を中心に発展してきた。

イ 臨海部には大工場が多く、内陸部には中小工場が多い。

ウ 水島コンビナートをはじめ、多くのコンビナートが位置している。

エ 4つの工業地帯の中で、生産額が最も少ない。

□(3) (1)の工業地帯では、2000年代に臨海部の工場の跡地に新しい産業の工場が進出した。この工場の製品を次から選び、記号で答えなさい。

ア 繊維      イ 薄型パネル      ウ 鉄鋼      エ 自転車

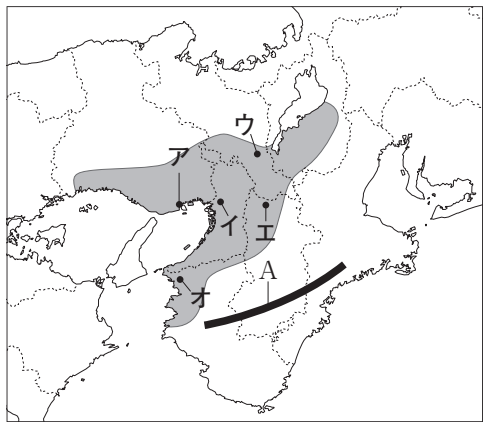
(4) 次の①、②の文にあてはまる都市を地図中のア～オからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

□① かつて平城京が置かれ、東大寺などの歴史のある寺院や神社がある。

□② 清水焼や西陣織などの伝統的工芸品の生産がさかんで、祇園祭が行われる。

□(5) 地図中のAの山地周辺で生産される、ブランド化された良質な①ひのき・②すぎを何というか。それぞれ答えなさい。

□(6) 林業従事者を増やすため、国や自治体は「[ ]」制度によって林業の知識や技能習得の支援を行っている。[ ]にあてはまる語句を答えなさい。



2 学習のまとめ ③～⑤

(1)

(2)

(3)

(4)①

②

(5)①

②

(6)

# Key プラス

1 右の地図を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) 地図中の①～③の県庁所在地名をそれぞれ答えなさい。

□(2) 地図中のAの湾の海岸線に見られる、複雑で出入りの激しい海岸地形を何というか。

□(3) 京阪神大都市圏では、地図中の淀川や琵琶湖の環境保全に取り組んでいる。その理由を、資料Ⅰを参考にして簡単に説明しなさい。

□(4) 資料Ⅱは、地図中の大阪府の工業用水の水源の変化を示している。1965年から2020年の間にリサイクル水の割合が大幅に増えていることと最も関係の深い公害を次から選び、記号で答えなさい。

ア 水質汚濁      イ 大気汚染  
ウ 地盤沈下      エ 騒音

□(5) 地図中のBの都市には、中小企業の工場が多い。中小企業の工場は住宅地に多いため、騒音・振動などの環境問題が発生している。これに対してどのような対策をとっているか、簡単に説明しなさい。

□(6) 地図中のCの都市の伝統的工芸品を次から2つ選び、記号で答えなさい。

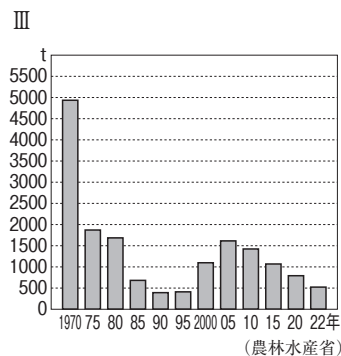
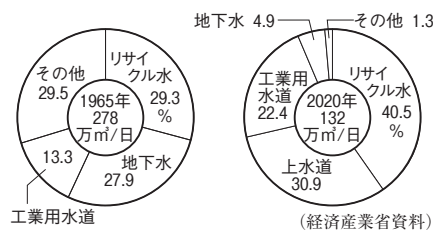
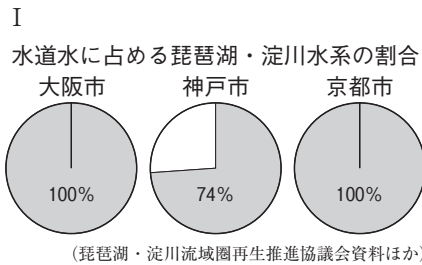
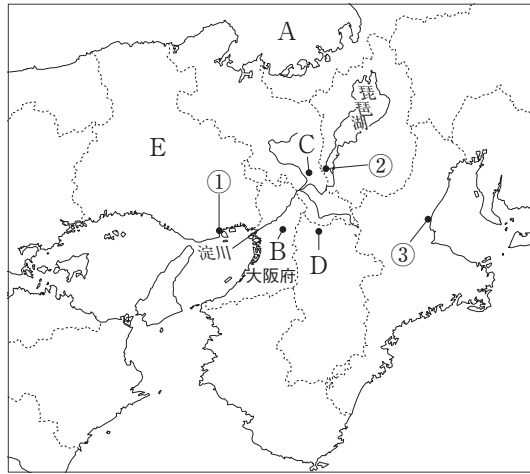
ア 西陣織      イ 奈良墨      ウ 清水焼      エ 萩焼

□(7) 地図中のDの都市では、とよばれる伝統的な住居の内部を旅館や飲食店などに改装して利用する取り組みが行われている。にあてはまる語句を答えなさい。

□(8) 近年、環境に対する効果を重視した「環境林」が注目されている。森林の役割としてあてはまらないものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 生活用水や農業用水を蓄える。  
イ 地震や津波を防ぐ。  
ウ 地球温暖化を防ぐ。  
エ 土砂災害を防ぐ。

□(9) 地図中のEの県のずわいがにの漁獲量の変化を示した資料Ⅲ中で、ずわいがにの漁獲量は一時大きく減ったが、その後、一時増加した。ずわいがにの漁獲量が増えた理由を簡単に説明しなさい。



1の答え

(1)① \_\_\_\_\_ 市

② \_\_\_\_\_ 市

③ \_\_\_\_\_ 市

(2) \_\_\_\_\_

(3) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(4) \_\_\_\_\_

(5) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(6) \_\_\_\_\_

(7) \_\_\_\_\_

(8) \_\_\_\_\_

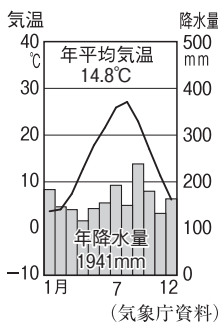
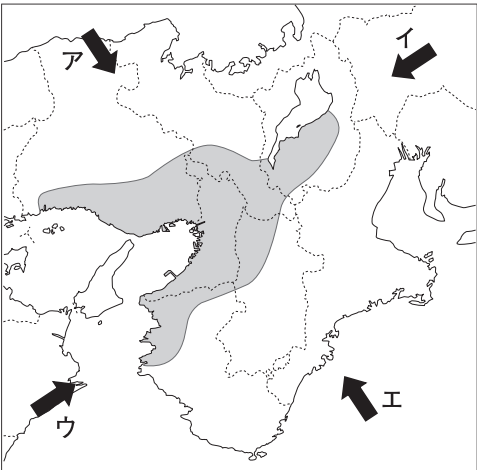
(9) \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

ここ得点アップ!

1 左の地図やグラフを見て、次の問いに答えなさい。

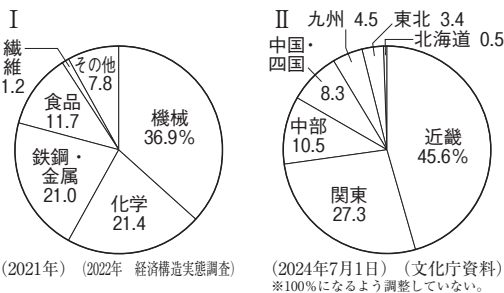


(1) 近畿地方の気候について、次の問いに答えなさい。

① 左の雨温図は、近畿地方南部のものか、北部のものか。 □( )

② 近畿地方の気候は、季節によって吹く方向が逆になる風の影響を受ける。この風の名を答えなさい。また、夏のこの風はどの方向に吹くか。地図中のア～エから選び、記号で答えなさい。

□風( ) □記号( )



(2) 左のグラフ I は、地図中 [ ] の地域の工業出荷額割合を表している。 [ ] に広がる工業地帯の名を答えなさい。

□( )

(3) 左のグラフ II は、何を表すグラフか。次から選び、記号で答えなさい。

□( )

ア 地方別の文化財割合      イ 地方別の人口割合  
ウ 地方別の面積割合      エ 地方別の米の生産量割合

(4) 次の語句のうち3語を使って、近畿地方の林業がかかえる問題について説明する文を書きたい。最も説明文に適さない語句はどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

□( )

ア 高齢化      イ 従業者の減少      ウ リサイクル      エ 外国材

(5) 近畿地方は、紀伊山地の「吉野すぎ」・「尾鷲ひのき」などの高品質な木材で知られ、出荷できるすぎやひのきは豊富にあるが伐採量は増えていない。その理由を簡単に説明しなさい。

□( )

2 左の表は、二郎さんが近畿地方の環境問題・環境保全について整理しようとしたものである。これを見て、次の問いに答えなさい。

| ①琵琶湖・淀川の問題・環境保全 |                    |                    |                  |
|-----------------|--------------------|--------------------|------------------|
| 環境問題            | 原因                 | 対策                 | 目的               |
| ②               | 工場の進出や人口増加による廃水の増加 | ・住民運動<br>・自治体の政策など | ③大都市圏の生活用水を守る    |
| 阪神工業地帯の問題・環境保全  |                    |                    |                  |
| 環境問題            | 原因                 | 対策                 | 目的               |
| ④地盤沈下           |                    | 工業用水をリサイクルする       | 環境を守りながら工業を発展させる |

(1) 表中の下線部①がある県の県庁所在地名を答えなさい。

□( )市

(2) 表中の②にあてはまるものを次から選び、記号で答えなさい。 □( )

ア 水質の低下      イ 大気汚染  
ウ 土壌汚染      エ 騒音

(3) 表中の③にあてはまる語句を答えなさい。 □( )

(4) 表中の④にあてはまる、環境問題の原因を答えなさい。

□( )